

まごころだより

2022年 10月号

“絵合わせゲーム”

すっかり要領を掴んだ絵合わせゲーム。若者には簡単過ぎて面白みに欠けるゲームだが、高齢者には難しいものです。それでも繰り返しやっていると、記憶することが要領だと解ってきて段々面白くなってきます。隣の人の番になると記憶をたどって、自分だったらあれだと思われているのでしょうか、ニンマリ顔でその様子を見ておられます。

“ネールサロン”

職員の勧めでネールに誘うのですが、最初は恥ずかしがられて中々受け入れられません。前回してもらわれた方が、可愛くて良いものだと言われてようやく受け入れますが、その出来具合を見て納得されます。恥ずかしそうに今度は別の爪にも書いて欲しいと小さな声で呟くのが聞こえました。



“法要”

月に一度の法要を今月も行いました。色んな宗派の方がおられますが、ここにおられる方はあまりこだわっていないように見えます。もっともお家に帰られたらちゃんと宗派の理解はされているかと思いますがそれは分かりません。違う宗派であっても目の前に居る仏様に手を合わせられるのは尊いことだと分かっておられるのだと思います。

“職員の自己紹介”

遠い国からやって来た職員。利用者は皆彼女を可愛らしく思い、また頼りにしています。彼女はベトナムから移ってきましたが、最初は全く日本語が話せなく、親戚も友達も無く、頼りにするのは最愛の夫だけでした。来日して何年になるのでしょうか。その間少しずつ言葉も覚え、文字も覚えて今では意思の疎通が出来るまでになっています。ただ一部の利用者には彼女の国の名前を伝えてもなかなか覚えてもらえなくて残念に思っていました。



そこで今回は思い切って自国の事や、家族の事を交えて自己紹介と言う形で伝える事にしました。たどたどしい言葉でも一生懸命発表する彼女の気持ちはまちがいなく皆に伝わったと思います。

“久しぶりのドライブ”

青空が秋の訪れを感じさせる日。適度に暖かい日でもあってドライブに誘いました。コロナの影響もあって出かけることに迷いがありましたが、室内に閉じこもってばかりでは気が晴れないと思い出かける事にしました。車中の利用者は通り過ぎる風景や見覚えのある

場所に思わず声を張り上げたりしてとても楽しそうでした。車外では眼中に入ってくる景色に感動したのか隣のひとと繰り返しその気持ちを語り合っておられました。

